INNOVATION LEAGUE CONTEST

① プロジェクト名（応募タイトル）

防災スポーツ～スポーツで災害に強くなる防災プログラム

② 代表応募者名（企業・団体・個人）

株式会社シンク　代表取締役　篠田　大輔

③ 共同応募者名（任意項目）

④ 取り組み実施期間
※ 現在進行中のものは「2020年4月～」のように記入

2018年9月～

⑤ 取り組み実施場所
※ ウェブでの取り組みなど地域を絞らないものは「全国」と記入

全国

⑥ 取り組み概要（最大800文字）

防災スポーツは、「楽しんで、競い合って、身体で覚える」ことをテーマに、スポーツの持つ特性（遊戯性、運動、競争性）を活用し（次頁図1参照）、災害時の自助・共助、災害後の復旧・復興（ボランティア）の際に想定されるシーンをスポーツ競技として体験し、日頃からスポーツを通じてもしもの時に生き抜く力を育みます。
災害の多い日本で“スポーツ”として防災に取り組むことは、①子どもから大人まで幅広い世代に防災を身近に感じることができ、②災害に備える環境（社会）づくりを行うことにつながります。自分を守り、家族を守るために日常からスポーツを通して災害に備える。普段スポーツに親しみのない人の参加も期待でき、スポーツ実施率向上による健康増進寄与も目指しています。【構成】スポーツで楽しみながら防災を学ぶ「防災スポーツ」は「防リーグ（体験）」と「防トレ（対策）」を中心に構成。「防リーグ」は災害時に役立つさまざまな防災の知恵と技を、体を動かし楽しく学ぶことで防災意識を高めます。「防トレ」は日常対策の中での防災対策をトレーニング形式で学び実践します。（防リーグの詳細は次頁図2参照）子供から大人まで、スポーツで防災のハードルを下げ、楽しく身体を動かしながら防災の意識を高めるこの防災スポーツをきっかけ、昨今の災害が多い状況もあり市民が積極的に参加できる環境を創出しています。
①　昨今の災害が多い状況において、防災の意識は高まりつつある。災害時には知識に基づく判断力に加え、とっさに行動できる体力・スピードの重要性があり、これらはスポーツを通じて高めることができる要素
②　震災時の状況、被災者から学んだ震災の教訓を組み込んだ内容として開発（防災の日常化を推進するNPO法人プラス・アーツの監修）

⑦ 取り組みから得られた成果、及び強くアピールしたい点（最大800文字）

・【主な実績】防災スポーツは災害の多い日本において、スポーツを通じて地域の防災力向上に寄与している。事例としては、熊本地震の被災地でもある熊本にてサッカー元日本代表巻誠一郎氏と共同イベントを実施し、ファミリー中心に楽しんでいただきました。その他、自治体の防災訓練の1つとして、商業施設や企業の会員向けイベント、学校での実施など様々な形で導入が進んでおり、2020年は自動車ディーラーの会員向けイベントや学校、地域（公民館）等で実施をしています。
・【様々な分野・対象と親和性の高いコンテンツ】先述の実績にある学校、企業や商業施設等やアスリート・クラブの社会貢献活動として、防災拠点であるスタジアム・アリーナとの連携等様々な分野と親和性の高いプログラムになります（次頁図3参照）
・【効果検証結果】小学生向けに実施した結果「スポーツ実施の意欲につながる結果」はじめ「災害時に周りを助けることができるか」といった意欲、「家庭での防災対策」を実施する行動への寄与など、本プログラムの導入効果が見られる（次頁図4参照）。
・【東京2020のレガシー、文化創出を目指して】東京2020を契機にレガシーとして「防災スポーツ」という文化定着を目指す。ハード面でのレガシーだけでなく、災害の多い日本ならではのスポーツを通じた防災学習プログラム「防災スポーツ」をソフト面のレガシーとして定着させていきたい。
・【主な受賞実績】第8回スポーツ振興賞　スポーツ庁長官賞受賞（2020年12月）＜スポーツ庁FB等参照＞、グッドデザイン賞2019受賞、キッズデザイン賞（2019）受賞

⑧ 取り組みの様子がわかるウェブページURL（任意項目）

https://bouspo.jp/

⑨ 取り組みの様子がわかる写真、イラスト、図表等（任意項目）

図１：防災スポーツ　全体像

「楽しんで、競い合って、身体で覚える」をコンセプトに、スポーツの要素を活用し、防災課題、スポーツ課題解決につなげる。

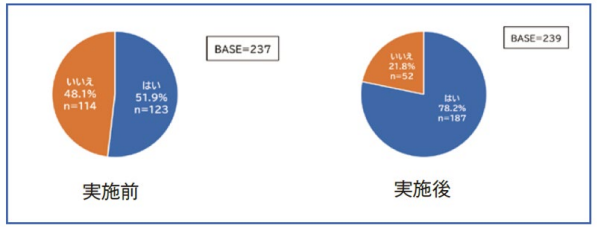
図２：体験プログラム「防リーグ」種目

災害を想定しスポーツ競技化。種目のロゴをオリンピック競技のようなピクトグラムにするなど、全体のデザイン性も高めかっこよさ、楽しさを創出

図３：防災スポーツ文化創出に向けて

学校教育、アスリート・クラブとの連携、スタジアム・アリーナ（防災拠点）との協業等様々な対象と親和性の高いコンテンツ

効果検証①～災害のとき誰かを助けることができそうか



効果検証②～家庭での防災対策

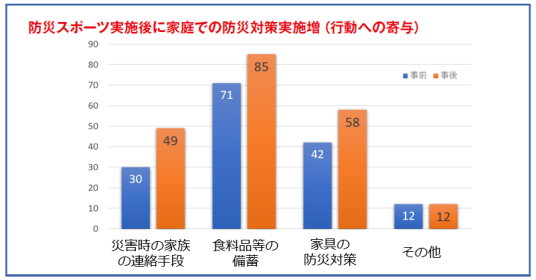


図４：効果検証（小学生247名対象）

防災スポーツ実施前後で防災への意識・行動の変化（①、②）、今後のスポーツ実施希望への寄与（③）が見られる

効果検証③～今後の運動・スポーツ実施希望理由　　**自由回答（抜粋）**

- みんなで力を合わせることが楽しかったから
- 防災スポーツで、スポーツに対する意欲が変わったから
- いつかこういうことをする時、体力をもっとつけたいから
- いつ起きてもおかしくない震災のために備えたいから

写真：2020年2月実施イベントの様子